

ひとを育てる活動

おめでとう！—奨学生 22 名が卒業—

この3月、CMIPを通じて支援してきた奨学生計19名がそれぞれの課程を卒業しました。

公立小学校:10名、CMIP アトモック小学校:1名

CMIP ラムアス小学校:1名、公立ハイスクール:7名

*今年のカレッジ・専門学校の卒業生はおりません。

FPF経由で会員13名が支援しているブラクール住民組合立小学校・ハイスクールでは、3月28日に卒業式がありました。うち奨学生は、ハイスクール卒業のジェロームとアナローズの2名です。あしながカレッジ奨学生では、ロジャーがスララ技術専門学校・車両整備1年コースを卒業しました。

今後の進路については5月末までに確定の予定です。ご支援ありがとうございました！

ハイスクール復学・卒業のリベルトも応募

— 新年度あしながカレッジ奨学生 —

2年前のタラヒク村ゴム苗植林地の訪問で出会ったブラクールハイスクールを病氣中退のリベルト。その後、奨学生特別医療予算で治療費支援をした結果、この3月に公立ハイスクールを無事卒業しました。カレッジ進学を希望しており、あしなが奨学金に応募しましたが、上記の新卒業生ジェロームに決定し、リベルトは次年度候補ということになりました。カレッジ4年間を全うできる学力・体力を維持して、再挑戦してほしいと思います。アイリーン・グレース(ツーリズム・ホテル専攻)は、1年生の終業式にて成績優秀で表彰されました。夏期休暇中はセブ島の施設で実習です。ジョセフは、レイクセブの SCMSI カレッジ(地域開発専攻)最終学年4年に進級の予定です。

レアさん、この3月初めて予備試験に挑戦

看護師として後輩の指導やビラーンの村の研修講師をしながら、1年後のダバオ医学校入学を目指しているレアさん。準備不足で予備試験結果はあまりよくなかったが、2回目(12月)に向けてもっと頑張りますというメールが届きました。医学校の学費年約20万円については、すでに会員のお一人からご協力の約束をいただいています。私たちもビラーン初の医師となるまでのレアさんの長い道のりを応援したいと思います。

新設のナブル鎌ヶ谷小、2年目に！

鎌ヶ谷市の市民グループICECKの支援で開校したナブル鎌ヶ谷小学校は、当初2教室で始めたところ、伝え聞いた近隣の未就学児童の入学登録が続きました。ICECKに再度教室増設の協力を要請し、計4教室で学んだ192人がこの3月初めての終業式を迎えました。生徒の中には2年生まで遠くの公立小学校に通っていたけれど通学が大変で中退した16歳の生徒もいます。

6月開始の新学期にはそれぞれの児童の習熟度により、1-4年生まで4つのクラスを作る予定です。新規に教育学部卒のロニー先生の雇用が決まりました。ただし既設の6校すべて一人の教師が2学年を持つ複式学級でやり繰りしているCMIPに、7校目のナブル鎌ヶ谷小学校の教師給与を支払う余裕はありません。幸い、前号で申請中とお知らせした川崎市のNPO法人WE21 ジャパンさいわいから、ロニー先生と補助教員各2名の給与補助をいただけることになりました。おかげで、最も辺境の地にあるナブルでも、無事新学期を迎えることができます。

WE21 さいわいには、これまで、教師の国家試験、教材、給食支援と、山の子どもの教育普及のためご協力いただいています。



ロニー先生を待つナブル鎌ヶ谷小スタッフ:左から、ICECKから給与支援をいただいているゴンサロ先生、補助のマイラ先生、CMIP教育担当のイトック神父(2011年11月キアミ)

卒業生近況

1年前にカレッジを卒業し、CMIPの各小学校でボランティア教師をしながら国家試験に挑戦した奨学生は4名でした。合格したアナリンを除くマリナ他3名は、教育実習を兼ねて、今年も山の学校で教えながら9月に再挑戦します。



マリナ(左)、エドウィン神父、アナリン(2012年3月/ピシエート)